

## 子供たちの笑顔があふれる3学期にするために

## 3学期＝1年間の総仕上げ＋次年度への準備

## ポイント①

## 3学期のスタートに向けて、1・2学期の学級経営を振り返る

## 〈1・2学期を振り返るためのチェック項目(例)〉

- 教室環境は整備されていたか。(机・イスの名前、時節に合った掲示物、ロッカーの整頓等)
- 学級のルールや学習規律は、誰もが無理なく守れる内容になっていたか。(教員も含め)
- 日直や当番等の仕事は具体的で、子供たちが自主的に動くことができるものになっていたか。
- 小さなトラブル等の解決を、当事者の子供だけでなく、学級全体の問題として考えていたか。
- 教員の指示や話等は「丁寧」「短く」「具体的」であることを意識していたか。

1・2学期に「できたこと」と「できなかったこと」を振り返り、1年間の総仕上げとして3学期に取り組むべきことを整理し、学校全体で情報共有しましょう。  
また、これまでに決めたルール等を子供と一緒に確認し、「できていること」はしっかりと褒め、「できていないこと」は3学期の目標に再設定する等、1年間の総仕上げにつなげましょう。

## ポイント②

## 3学期の学級経営を充実させ、次年度のスタートにつなげる

## 一人一人が自分の存在を実感できる授業づくり

- ・子供の実態把握を十分に行い、予想される個のつまずきに対する手立てを準備し、個別指導へつなげる。
- ・対話活動を行う際には、相手を尊重した聞き方や話し方ができるように確認する。

## 充実感や達成感が感じられる学級での取組

- ・学級委員や班長などに、学級をまとめていくための具体的な指導や励ましを行う。
- ・子供たち一人一人が自分のよさを生かし、係や当番の活動内容を工夫できるよう助言する。

## 1年間のゴールの姿や次学年を意識した振り返り

- ・特別活動の時間等に、学級や個人目標を振り返る時間を確保する。
- ・学級の課題を再度確認し、具体的な手立てを考え、次学年や卒業後も見通した目標を設定する。

3学期は1年間の総仕上げであると同時に、次年度にどうつなげるかを意識した学級経営を行うことが大切です。

子供たちがさらに飛躍するための助走の時期と捉え、新たな目標を設定したり、新しい学級での人間関係につまずかないよう、相手を意識した聞き方や話し方等のソーシャルスキルを高める取組をしたりすることも有効です。